

(2) 成年年齢引下げに対応した授業提案

※Web版読本「番外編」を活用した授業提案

- 題材名：経済生活を営む ● 実施科目：家庭基礎
- 題材の目標

- ・消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解する。
- ・成年年齢が18歳になることから，未成年・成年の法律上の責任の違いについて理解する。
- ・消費者の権利と責任を自覚して，主体的に行動できる力を身につける。

	1 時間目	第2、3 時間	4 時間目
小題材名	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する ・計画的に使う ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の消費社会 (1) 契約と契約トラブル (2) 消費者をめぐる問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動と意思決定 ・これからの消費生活と環境
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的自立と職業について主体的に考える力を身につける。 ・経済社会の仕組みと家計との関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人になるまでに押さえておきたい「契約」「消費者信用」、「消費者保護制度」について理解する。 ・消費者問題について知り、適切な行動がとれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者には権利と責任があることを理解し、それに伴う各法律について知る。 ・消費行動における自らの意思決定と責任について理解する。 ・持続可能な社会にむけての消費行動について考える。

授業展開例④ 「契約と契約トラブル」

- 学習指導過程

※Web版読本「番外編」の説明 p10参照

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 10分	1.成人になると、何が変化するのか考える。 「成年年齢引下げクイズ」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想でディスカッションできるように促す。 ・クイズを解説した後、18歳成人になると「一人で契約できる」ようになることを説明する。 	A3以上の大きな用紙（グループワーク用） Web1.18歳で成人になって、できること、できないこと 指導者用パワーポイント資料 ワークシート④
<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 「成人になる」までに押さえておきたい（契約）の基礎知識を理解する。 契約には、強い（拘束）力が発生することについて、考える。 </div>			
展開Ⅰ 10分	2.契約の基礎知識を理解する。 「契約クイズ」に取り組む、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズに挑戦させた後、契約の基礎知識を説明する。 ・契約はお互い対等で自由に決められることができるが、一度成立したら強い拘束力が発生することを理解させる。 	Web2.次のうち「契約」はどれ？ Web3.一度成立した契約の「拘束力」って？ 指導者用パワーポイント資料 ワークシート④
展開Ⅱ 25分	3.一度成立した契約の拘束力について考える。 「契約トラブルの事例」を基にグループでディスカッションする。 「契約の注意点」を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を基に、今までの契約トラブルの事例と、その結果がどうなったのかを自由に話し合う。 ・自分の経験を通じて、いったん成立した契約はどちらか一方の都合でやめることができないことを確認する。 ・契約する前に十分に検討することの重要性に気付かせる。 	Web4.契約をやめられる場合とやめられない場合の違いは？ 指導者用パワーポイント資料 ワークシート④
まとめ 5分	4.学習内容を振り返り、意見交換をする。 グループごとに、この授業を通して気付いたことや疑問点をワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・一度成立した契約は強い拘束力があることを理解しているかどうか確認する。 ・次時は、「契約はどんな場合でもやめることができないのか」を考えると伝え、生徒の関心を高める。 	ワークシート④

ワークシート④ 「契約と契約トラブル」

年 組 名前

理解度✓ 当てはまる番号に○を付けましょう。選択肢が数字の場合、知っている数で答えてください。

1. 18歳成人になると何が変化するのか知っている。 (1.1つ 2.2つ 3.3つ 4.4つ 5.5つ以上)
2. 契約とは何か、説明できる。 (1.説明できる 2.説明できない)
3. 契約する際の注意点を知っている。 (1.1つ 2.2つ 3.3つ 4.4つ 5.5つ以上)

ねらい

「成人する」までに押さえておきたい（**契約**）の基礎知識を理解する。
 契約には、強い（**拘束**）力が発生することについて、考える。

1 「18歳で成人すると何が変化するのか」を考え、ワークシートに記入しましょう。

（**権利**） 大人になるとできるようになること

（**責任**） 大人として果たすべきこと

例) お酒が飲める、たばこが吸える。(20歳) ※
 自分一人で何でも買える。
 自動車免許が取れる。
 選挙に行ける。
 親の承諾なしに、結婚できる。

例) 国民年金保険料を支払う。(20歳) ※
 働いて経済的に自立する。
 (罪を犯したら) 名前が公表され、刑罰を受ける。(20歳) ※

※生徒の自由な発想をイメージして赤字で加筆しているため、正解の解答ではないものもあります。

2 契約の基礎知識について（ ）に当てはまる用語を埋めましょう。

契約は、法的な（**拘束力**）が発生する約束事である。

契約の方式は（**自由**）で、（**口頭**）でも契約は成立する。

契約は、（**申し込み**）と（**承諾**）というお互いの（**意思表示**）が合致した時点で成立する。

一度成立した契約は、お互いに（**権利**）と（**義務**）が生じ、どちらか一方の都合でやめることが（**できない**）のが原則である。

3 事例を参考に、自分や周りの人が「契約をやめたい」と思った経験を話し合しましょう。

販売方法	購入した商品、価格など	やめたいと思った理由	やめられたか。その時の状況など
例) ネット通販	チケット3枚 2万円	同じチケットだから	やめられない。ネットに「返品不可」と書いてあった。
スーパー靴屋	キャベツ 200円 スニーカー 8,000円	キャベツとレタスを間違えた。家に帰ってみたらやっぱり似合わない。	レシートを持っていったら、返品できた。レシートを持っていったが、返品できなかった。
ネット通販	ゲームアイテム 30万円	携帯電話料金と一緒に、30万円の請求が来て、親に怒られた。	消費生活センターに相談して、支払わなくてすんだ。

4 契約時の注意点について、まとめましょう。

契約前に、本当に必要かどうか考える。 自分で支払える範囲の金額かどうか確認する。
 契約前に、契約する内容を十分に確認する。 商品の値段、品質、表示をよく比較検討してから、選ぶ。
 通信販売の場合、返品条件を確認する。 支払方法を確認して、自分に合った支払方法を選ぶ。

5 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？
 設問例Ⅱ 活動を通じて、気付いたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？
 設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？